

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	毎月	乳幼児保護者 児童館利用者 洛央小雅小学校児童・保護者 修徳・成徳・有隣・豊園学区地域 近隣小学校家庭数配布 下京区子どもはぐくみ室	児童館外掲示板 カウンター置き 地域自治会回覧 近隣小学校家庭数配布 ホームページ掲載	月行事予定 各種イベント案内 行事, 活動のようす紹介 参加者募集	募集PRにより参加者増加 活動のようすの紹介好評 高学年, 中学生への周知方法については、 可能な限り個人配布を行った。
	学童クラブだより	毎月	学童クラブ登録児, 保護者	月末持ち帰り	月間行事予定 お知らせ 行事, 活動のようす紹介 参加者募集	たよりを通して活動への理解が深まった。 親子での会話のきっかけづくりとなった。
	地域子育てステーションたより 「インフォメーション」	年1回	児童館来館者 地域回覧 関係機関	活動時配布 関係機関への送付	児童館の利用案内	児童館の様子だけでなく、児童館理解につながった 児童館の活動内容等の説明に役立った。
	ポスター, チラシ	随時	来館者 乳幼児クラブ登録者 学童クラブ登録保護者 周辺地域 関係機関 館内外掲示	児童館掲示板 館内 周辺地域広報板 近隣小学校掲示 学童クラブ登録児住居地域掲示板	開催行事内容と参加者募集	見やすく読みやすい広報作りに努めた。
	中高生向けチラシ	随時	中高生世代	中学校配布、図書館掲示、ホーム ページ、おたより	イベントのお知らせ	これまで参加が少なかった世代だが、チラシを見 ての参加があった。
	たんぽぽ通信	毎月	乳幼児保護者 児童館利用者	関連施設配布	乳幼児の取り組み予定	掲載内容を見て来館する人が増加。
	ホームページ	随時更新	全域		各たより、ちらし、動画アップ	ホームページを見て来館する人が増加。
	写真展インターネット掲載	年2回	写真申し込み者	来館した人に閲覧方法周知	一年間の活動写真	
	写真展(館内掲示)	年2回	来館者 児童館/学童クラブ利用者	おたより	一年間の活動写真	写真を通して児童館の取組を知ってもらえた。 写真を使つての広報(カメラマンとのつながり)
	子育て応援パンフレット		保健センター乳幼児健診受診者	直接配布	下京4児童館の案内	
	図書館前掲示ポケット ・マタニティフォトチケット	通年 通年	全域(図書館利用者) 全域(図書館利用者)	持ち帰り用チラシ 持ち帰り用チケット	児童館の利用案内 マタニティフォトの案内	*28年度より図書館前児童館掲示コーナーを 新たに設置。毎月のお知らせやパンフレット 等を常に置いて広報活動をしている
	図書館展示	年1回	全域(図書館利用者)	おたより、ホームページ	こどもたちの作品展示、児童館の取組紹介	足を止めて見ている人が多くいた。小さい子から お年寄りの方まで様々な人が興味を示してくれ た。
	はぐくみ室HP子育て応援情報 こどもネット下京パンフ	通年	全域		児童館子育て情報	
	赤ちゃん写真展(図書館)	1回	下京区民・図書館利用者	通行人への声掛け、おたより、 Instagram	利用者の方から赤ちゃんの写真とおすすめ グッズを募集し、展示して紹介した。	児童館利用者だけではなく、様々な人に見てもら えた。
	下京区・南区写真展 (ヘルスピア21、イオン洛南 ショッピングセンターにて)	1回	全域	おたより、各児童館での広報	児童館の紹介	ショッピングセンター利用者や通行人に見てもら えた。
20周年企画(カウントダウン 動画など)	2021年7月～	全域	ホームページ、Instagram、 Twitter、メール配信、 YouTube、おたより、イベント時 に配信	地域の方や施設の方に出演協力してもら い、複合施設修徳20周年記念の動画を作 成。(カウントダウン&おめでとう動画)	地域や、児童館と関わりのある人たちと一緒に20 周年のお祝いをできた。	

きょうとっこえがお展（大丸京都店コラボ）	1回	全域（児童館利用者、大丸京都来店者など）	大丸京都店でのPR、児童館おたより、チラシ、メール配信、Instagram、Twitter	大丸京都店でえがお写真の展示（B2F、正面ウインドウ、地下通路ウインドウ、館内の柱、マネキンにもえがおが溢れていた）	コロナ禍でも“えがお”の持つ力を様々な人に感じてもらうことができた。企業とのコラボにより、今まで児童館と関わりのなかった人にまで届けられ、反響もあった。
セコムメール	随時	児童館/学童クラブ利用者	メール一斉配信	児童館の開館情報や緊急事態宣言に係るお知らせなど	迅速な対応ができた
Twitter	随時	全域		取組の案内、お知らせ、イベントのリアルタイム更新	情報が速やかに伝わった。利用したことのない人も児童館を知るきっかけになった。
Instagram	随時	全域		写真メインの児童館のPR	現代の情報収集のツールとして多くの人に活用されているため開設。写真を使用することで、よりわかりやすく「見える化」できた。
動画の配信	随時	全域	メール配信、ホームページ	取組やお知らせの動画	動画にすることで、より伝わりやすくなった。様々な人に見てもらえた。
Googleフォームの活用	随時	児童館/学童クラブ利用者	メール配信	学童クラブ出欠の予定、登録制の取組申込、アンケート	スムーズに確認やまとめの作業ができた。今後も活用方法の幅が広がりそう。
京都市アプリ「ピアッザ」	随時	下京区・南区民		取組の案内、お知らせ	より幅広く且つ対象者に届くように利用。